

視 察 報 告 書

報告者氏名 おだぎり たかし

1 委員会名
議会運営委員会

2 期 日
令和8年1月29日（木）～1月30日（金）

3 視察地及び調査事項

- （１）愛知県知立市
議会BCPなど議会としての災害対応について
- （２）静岡県袋井市
政治倫理条例について

4 所感等

■愛知県知立市「議会BCPなど議会としての災害対応について」

・議会独自の訓練（発災直後の安否報告）や、そのため議会共通アプリの活用を図っている点、正副議長の緊急事態発生時の対応まで位置づけられていることは、本市議会でも学び、取り入れられる点と思われた。

・一方、発災内容や規模によってさまざまな異なることや、本市消防団員でも消防団小屋への参集の位置づけだけで、その他の活動は本部からの指示で動くことなどを踏まえれば、詳細すぎるBCPよりは、A4表裏で簡潔にまとめた本市議会の取り組みの利便性の高さを再認識できた。

同時に重要な点は、災害時の縷々活動よりも、議員個人として何を最優先すべきなのか、その理由は何なのかを議会基本条例と整合をあわせ、議会基本条例に記載しておく必要があると思われる。

● その他

- ・ 知立古城址跡地の公園に配慮した民間施設（カフェなど）



歴史的な跡地を公園にするのは全国の自治体で実施されているが、その周辺の民間住宅や商業施設がその歴史的価値や景観を最優先し設計・整備（全面ガラス張りで古城址公園を一望でき、公園との一体感）されていた。大変先進的な取り組みと思われる。



一方、知立駅の高架駅建設や北口駅前整備で導入されているデザインと、駅前交番のデザインの異質感の経緯には大変興味がわいた。また知立駅北口のバスロータリーでは、歩道部分に切れ目なく屋根が設置され



ており、全天候型となっており、本市でも参考になると思われる。

- ・ 駅と役所等を結ぶミニバス（1回乗車100円）と車内掲示（川柳）

ミニバスでは、車体有料広告制度（https://www.city.chiryu.aichi.jp/material/files/group/20/R7_bosyuyouko.pdf）も整備されていた。また、社内では親子川柳も掲示され、小林一茶に係るの本市でも参考になる取り組み

だった。



■ 静岡県袋井市「政治倫理条例について」

・ハラスメント等他者への人権侵害や、情報発信（SNS含む）について、条項で位置付けられており、議員間の議論に感銘を受けた。また審査会の運用等、先進議会で学び条例等の継続的なブラッシュアップに向けた取り組みは敬服した。

・また政治倫理を損なう疑いが生じた際に、調査および審査を行う第3者機関・政治倫理審査会（議員のみとせず有識者を含む）の設置や、調査および審査を請求できる権利を定めている点（申請には一定の条件あり）では、本市議会でも具体化が必要と思われる。

・一方、条例だけを見れば、政治家の活動（修繕工事やカーブミラーとの設置等に対する市民要望の進捗率の報告等）や議会での発言（行政側の論理や理由付けに対する厳しい告発等）等の議員活動の自由度に相当な制限がかけられている恐れも否定できなかった。

特に条例で記載されている「公正・公平」とは市民にとっての位置づけとなっているのか、また誰にとっての「民主的」との記載しているのか、そもそも議会基本条例で記載している「二代表制」と政治倫理として求めている活動の関係性には疑問点を持たざるを得なかった。今後当議会での議論では、「二代表制」の認識のバラつきを可能な限り均等化してから、政治倫理に対する議論を深める必要が非常に重要であると思われる。

● その他

- ・ 役所内におけるフードドライブの取り組み



役所入口にフードドライブのボックスが設置（１ヶ月間）していた。

- ・ 景観の取り組み

袋井駅南口では区画整理事業が進められているが、駅前高層マンション内の自走式駐車場については、駅側の壁面を景観に即して実施されていた。また隣接した建物も、宿場町を意識した設計・景観となっていた。今後周辺の開発が進んでもなお残してほしい景観であった。



- ・ ジュニアアスリートを応援する雑誌発行

袋井市及び浜松市、公益社団法人協力して発行する雑誌（<https://jr-athlete.jp/>）が役所内にも設置しており、市内の子どもたちの頑張りが身近な存在となるとともに、本市でも今後話題となる「部活動の地域開放」について保護者・市民への周知に役立っていた。